

Googleアナリティクスを 設定しよう

1. Googleアナリティクスを登録

グーグルアカウントにログインした状態で「グーグルアナリティクス」と検索しページを開きます。

「登録」をクリックし、次の画面にすすみます。

サイトのトラフィック分析を3ステップで開始できます

1 Google アナリティクスに申し込む



モニタリングするサイトの基本情報だけでお申し込みいただけます。

2 トラッキングコードを追加する



表示されたトラッキングコードをページに貼り付けます。これにより、サイトへの訪問をGoogleが把握できるようになります。

3 オーディエンスの詳細を確認する



数時間以内にサイトの詳細データが表示されます。

Google アナリティクスの使用を開始

登録

費用は無料で設定も簡単です。今すぐお申し込みいただけます。

ご不明な点がある場合は、[ヘルプセンター](#)をご覧ください

2. 必要情報を入力

必要事項を入力します。

○トラッキング対象はウェブサイト

○任意のアカウント名を入力

○ウェブサイト名を入力

○ウェブサイトURLを入力

○業種を選択

○タイムゾーンを「日本」に

最後に「トラッキングIDを取得」をクリックします。

アナリティクス

新しいアカウント

トラッキングの対象

ウェブサイト モバイルアプリ

アカウントの設定

アカウント名
アカウントに複数のトラッキング ID を含めることができ
ectest **任意の名前を入力**

プロパティの設定

ウェブサイトの名前
ectest **ウェブサイト名を入力**

ウェブサイトの URL
http:// essample.creaid.biz/ **ウェブサイトのURLを入力**

業種
その他 **該当するものを選びます**

レポートのタイムゾーン
日本 (GMT+09:00) 日本時間

データ共有設定 (?)

お客様が Google アナリティクスを使って収集、処理、保存 Google の [プライバシー ポリシー](#) に記載された法的理由が生

データ共有オプションでは、Google アナリティクスデータ

- Google のプロダクトやサービス **推奨**
Google のプロダクトやサービスの改善に役立つように、[拡張レポート機能](#)に必要です。このオプションを無効に
- ベンチマーク **推奨**
匿名データを提供すると、蓄積されたデータセットから **を表示**
- テクニカル サポート **推奨**
サービスの提供や技術的な問題の解決のために必要と判
- アカウントスペシャリスト **推奨**
Google のマーケティングと販売のスペシャリストに、[スペシャリストにアクセスを許可してください。](#)

Google アナリティクスでのデータの保護方法の詳細をご覧

トラッキング ID を取得 キャンセル

3.トラッキングコードをコピーする

「グローバルサイトタグ」が「トラッキングコード」になります。
コピーしておきましょう。御社ウェブサイトを開きます。



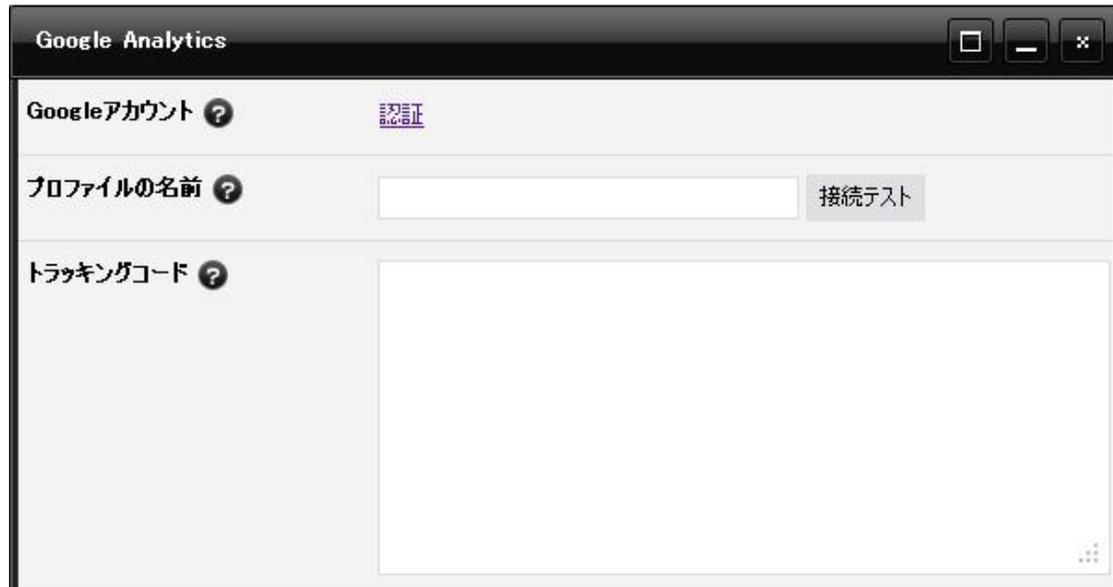
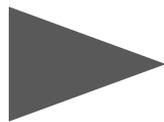
The screenshot shows the Google Analytics Admin interface. On the left is a navigation menu with the following items: プロパティ設定, ユーザー管理者, トラッキング情報, **トラッキングコード**, データ収集, データ保持, User-ID, セッション設定, オーガニック検索ソース, 参照元除外リスト, 検索キーワード除外リスト, サービス側のリンク設定, Google 広告とのリンク, AdSense のリンク設定. The main content area is titled 'ウェブサイトのトラッキング' and 'グローバル サイトタグ (gtag.js)'. Below the title is a text block explaining the code: 'このプロパティで使用できる Global Site Tag (gtag.js) トラッキングコードです。このコードをコピーして、トラッキングするすべてのウェブページの <HEAD> 内の最初の要素として貼り付けてください。ページにすでに Global Site Tag が配置されている場合は、以下のスニペットの **config** 行のみを既存の Global Site Tag に追加してください。' Below this text is a code editor with a red border containing the following code:

```
<!-- Global site tag (gtag.js) - Google Analytics -->
<script async src="https://www.googletagmanager.com/gtag/js?id=UA-142001702-1"></script>
<script>
  window.dataLayer = window.dataLayer || [];
  function gtag(){dataLayer.push(arguments);}
  gtag('js', new Date());

  gtag('config', 'UA-142001702-1');
</script>
```

 Below the code editor is another text block: 'Global Site Tag (gtag.js) を使用すると、Google のサイトの測定、コンバージョン トラッキング、リマーケティング サービスでのタグ設定が合理化されます。タグの管理や実装も容易になります。また、公開される最新の動的な機能や統合のメリットをすぐに活かすことができます。詳細' At the bottom is the section 'Google タグ マネージャー' with the text: '解析タグやトラッキング タグの数が多い場合は、無料の Google タグ マネージャーを使うとサイトへのタグ設定が簡単になります。次のような場合は、Google タグ マネージャーのご利用をおすすめします。'

4.コントロールパネルから【管理】→
【Googleアナリティクス】を選択します。



【承認】をクリックします。

承認をクリックすると、Google アカウント選択画面に移ります。

アナリティクスを登録しているアカウントを選択しましょう。



日本語 ▾

ヘルプ

プライバシー

規約



日本語 ▾

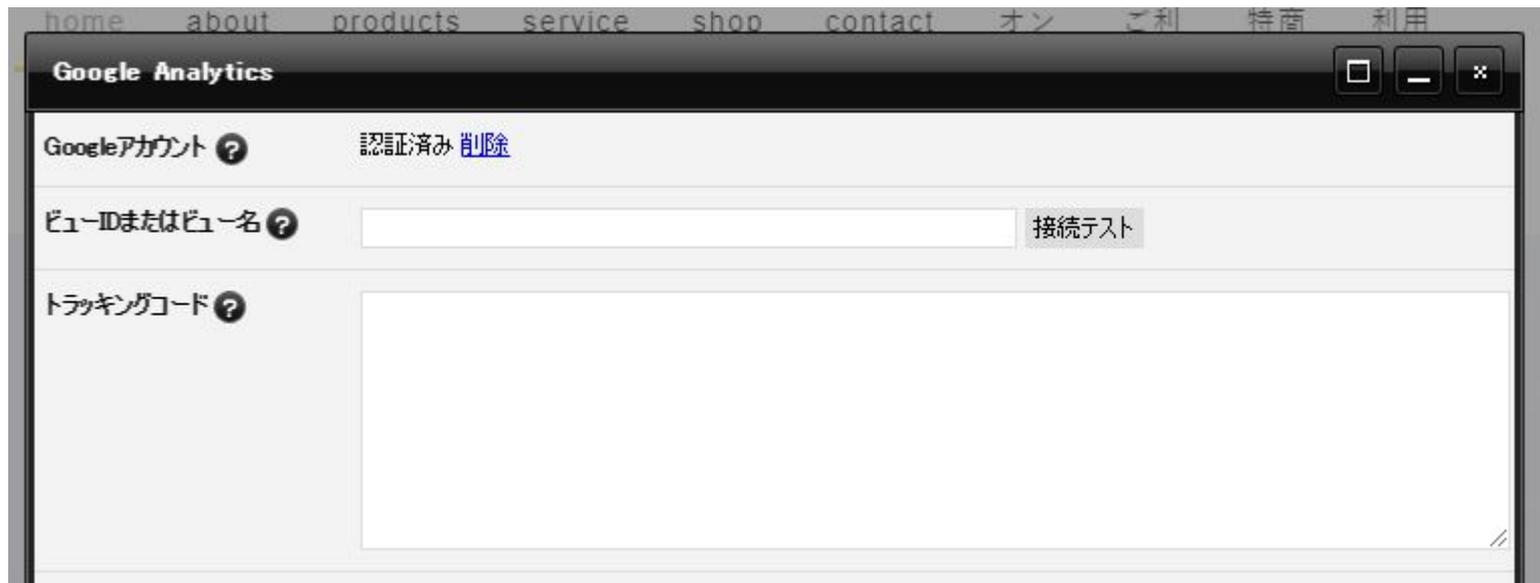
ヘルプ

プライバシー

規約

5. トラッキングコードを貼ります

先ほどのトラッキングコードをエリア内に貼り付けます。



6.ビュー名を入力

ビュー名はGoogleアナリティクス内の「設定」より見るすることができます。こちらをコピーし貼り付けます。

The image shows a screenshot of the Google Analytics user interface. The main area displays three columns of settings: 'アカウント' (Account), 'プロパティ' (Property), and 'ビュー' (View). In the 'ビュー' column, the 'ビューの設定' (View Settings) option is highlighted with a red box. A large black arrow points from this box to a zoomed-in inset of the 'ビューの設定' (View Settings) page. In the inset, the 'ビュー ID' (View ID) is highlighted with a red box and shows the value '196870609'. The 'ビュー名' (View Name) field is also visible but empty.

管理 ユーザー

アカウント + アカウントを作成
ecitest

アカウント設定
ユーザー管理者
すべてのフィルタ
変更履歴
ゴミ箱

プロパティ + プロパティを作成
ecitest

プロパティ設定
ユーザー管理者
トラッキング情報
サービス側のリンク設定
Google 広告とのリンク
AdSense のリンク設定
Ad Exchange のリンク設定
すべての商品
ポストバック
ユーザー定義
カスタム定義
データインポート

ビュー + ビューを作成
すべてのウェブサイトのデータ

ビューの設定
ユーザー管理者
目標
コンテンツグループ

ビュー + ビューを作成
すべてのウェブサイトのデータ

ビューの設定
ユーザー管理者
目標

ビューの設定

基本設定

ビュー ID
196870609

ビュー名

カスタムアラート

© 2019 Google | アナリティクス ホーム | 利用規約 | プライバシーポリシー | フィードバックを送信

7.【OK】を押して完了

連携したアナリティクスは【システム】→【アクセス情報】で確認できます。
詳細はアナリティクス内よりご覧ください。

